

7月定例記者会見要旨

定例記者会見を始めさせていただきます。

季節のたけなわ、夏の土用に入りました。「梅雨明けしたらしい」という発表が各地で続いています。今年は何かはっきりしない梅雨になっています。現在、市の一員としてご活躍いただいている酒井気象予報士によると、龍ヶ崎の梅雨明けは、7月下旬も後半になるのでは、とのこと。

蒸し暑い日が続く、梅雨が明けると暑さも本格化します。本年の土用の丑の日は7月30日。精をつけて、熱中症など暑さ対策を万全にいただき、この夏も元気にご活躍いただきますことをご祈念申し上げます。

さて、市内小中学校では、7月20日（水）に1学期の終業式を迎え、児童生徒達が待ちに待った夏休みがスタートしました。

この夏休み期間中、児童生徒達が、交通事故などに遭う事なく、元気に夏休みを謳歌できるよう、引き続き、防犯パトロールをはじめ、児童生徒達の安全・安心の取組みに、市民の皆さんと力を合わせてまいります。

ところで本市は、6月17日（金）付で、交通死亡事故ゼロが連続300日を達成し県から表彰されましたが、現在も更新中です。

夏休みに入った翌日の朝には、長山小学校の児童たちにもお手伝いをいただき、竜ヶ崎警察署と竜ヶ崎地区安全協会、市交通安全母の会の皆様とともに、交通安全キャンペーンを実施し、夏休み期間中の児童生徒達の交通安全と、ドライバーの皆さんに安全運転を呼びかけてまいりました。

引き続き、竜ヶ崎警察署や竜ヶ崎地区安全協会、市交通安全母の会をはじめ、関係団体の皆様と連携し、児童生徒達の安全・安心はもちろん、本市での死亡事故ゼロを、まずは間近の365日、そして本年内、500日、本年度内と、1日でも長く続けるよう運動を推進してまいります。

さて龍ヶ崎市街地では、本市に本格的な夏の到来を告げる、龍ヶ崎八坂神社の祭礼が7月22日（金）からの3日間、執り行われます。この後、情報提供させていただきますが、最終日の7月24日日曜日には、日没ごろに、国選択並びに県指定無形民俗文化財である「撞舞」が、市内根町の撞舞通りで開催されます。

多くの皆様にご来場いただきますよう、心よりお待ちしております。

また、今日の記者会見の後になりますが、流通経済大学において、大学関係者で、リオデジャネイロオリンピックに出場される、トリアスロン男子日本代表の田山實豪選手と、柔道男子フィジー代表のナウル・チョサテキ選手、昨年大学を卒業したラグビー7人制男子日本代表の合谷和弘選手の壮行会が流通経済大学で開催されます。合谷選手は、海外合宿中のため、ビデオ

メッセージが披露されるとのことです。

本壮行会での声援を大きな力に、代表選手の皆様のオリンピックでの活躍を大いに期待しています。

記者クラブの皆様には、そちらの取材につきましても、よろしくお願いたします。

それでは、本日の情報提供を始めさせていただきます。

はじめに商工観光課からの情報提供でございます。

冒頭でもお話ししました国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」の開催についてでございます。今年の「撞舞」は、7月22日（金）から開催される八坂祇園祭の最終日、7月24日の日曜日に開催されます。時間と場所は変わらず、夕刻から根町の撞舞通りとなります。

6月5日（日）から毎週日曜日、市役所南側駐車場に行われていた練習も、全7回順調にこなすことができたと伺っていますので、今年も2人の舞男による華麗な舞が披露されると期待しています。

続きましては、高齢福祉課からの情報提供でございます。

「安全・安心なまちづくり」を目指す本市では、ひとり暮らしの高齢者に対する「見守り」も、安全・安心して暮らし続けることのできるまちづくりに、重要な施策であります。

今回、株式会社アドバンスさんのご厚意によりまして、ひとり暮らしの高齢者の見守りに活用していただきたいと、100台の「見守りメール携帯端末」を無償で提供をいただきました。

ひとりで暮らす高齢者と、離れて暮らす家族は、「もしも何かあったら」と常日頃、心配され、また、高齢者ご本人も、日々生活の中で、同様の思いや不安を感じている事と思います。

このような高齢者本人やその家族の不安感を解消するため、提供いただいた見守り携帯端末を、ひとり暮らしの高齢者へ進呈し、携帯端末から送られる「見守りメール」を市も受信することで、メールの内容に異変があったときは、離れて暮らすご家族などと連携し、迅速に安否を確認するなど、高齢者本人や離れて暮らす家族の不安を解消するアイテムとして また、よりきめ細かな見守りに活用できたらと考え、全国初となる試みとして、今回、試験的に取り組んでまいります。

続きまして、人事行政課からの情報提供でございます。

平成26年度から実施しております中学生の被爆地への派遣ですが、本年

度は「非核平和推進事業に係る長崎への中学生派遣事業」として実施します。

昨年度・一昨年度と広島への派遣を行ってまいりましたが、本年度はもうひとつの被爆地である長崎へ中学生を派遣することといたしました。

この事業では、市内中学校の代表生徒12人が8月8日から10日の3日間の日程で、長崎平和祈念式典への参列、被爆体験者の講話の拝聴、被爆施設の見学などを通じて、被爆の実態や平和の尊さを学習してもらうことを目的としています。

生徒たちは、まず、派遣前に合計3回の事前学習会を経て。生徒自らがテーマを設けて、事前学習をし、その上で現地での活動を行う予定となっています。

派遣後は、自身の経験や体験を、各学校における報告会や秋に開催する予定の市戦没者追悼式で市民向けの全体報告会という形で発信し、共有することで、核兵器廃絶と恒久平和について語り継いでいこうとするものです。

市としましても、市ホームページ、フェイスブックなどや市広報紙を利用して、生徒たちの活動の状況や思いを随時、発信していきます。

また、あわせまして、7月24日（日）まで、市歴史民俗資料館において「長崎原爆被災写真展」を開催しています。

写真展では、長崎原爆資料館所蔵の被爆直後を記録した貴重な写真類30数点の展示を行っています。

写真展会場では、長崎への中学生派遣の際に折り鶴を献納するため、会場に折り鶴を折るスペースを設けて、来場者の方に折り鶴を作っていただくことを考えていますので、ご協力いただければと思っています。

続きまして、中央図書館から夏休みのスペシャル企画についての情報提供です。

保護者にとってもそうですが、特に子どもたちにとっては、夏休みはスペシャルな期間です。

資料にも、「自由研究」や「読書感想文」など、夏休みに馴染みの深い言葉が並んでいます。夏休みだからこそのイベント開催となりますので、たくさんの方にご参加、ご来館いただければと思います。

中でも、子ども科学セミナーは、昨年度、募集受付の当日に定員に達した人気の高い講座です。また、2階のギャラリーでの自由研究の本の展示は、自由研究向きの本を棚に並べて貸出を待つのではなく、子どもの研究テーマになりそうな本を、数冊のパックにして展示し、そのまま貸出にも対応するもので、今回、初めての試みになります。また、龍ヶ崎朗読の会と共同で行う、子どものための朗読会も、初めての開催となります。

以上で、本日の情報提供を終わりとさせていただきます。なお、詳細につきましては、このあと担当から説明させていただきます。